



河内小だより

たつの市立河内小学校

〒671-1664

たつの市揖保川町金剛山604

TEL 0791-72-2129

FAX 0791-72-6213

ともに学び合い、心身ともに健康でやさしい河内っ子

安全な登校と下校をしよう ～ 自分で身を守る、みんなで守る ～

集団登下校とは児童がある程度の集団となって一緒に登校や下校をすることで、児童の交通安全上の配慮や児童を狙った犯罪から児童を保護する目的でおこなわれています。しかし、昨今のニュースで、集団となった状態の児童に車が突っ込み多くの被害が出てしまう事もあり、交通安全の視点からも危惧されることが多々あります。そこで、児童一人一人が、安全への意識を高め、自分の身を守る行動を再確認していきましょう。

【交通安全に関する留意点】

《通学時》

- 登校班がある場合は、**集合時間**をきちんと守り、欠席するときは、同じ班の人に**必ず連絡**しましょう。

また、登校するときは、きちんと**一列に並んで**歩きましょう。

- 車などの動きに十分注意して、**慎重な行動**を心がけましょう。



《雨の日》

- 雨の日は視界が悪く、安全確認が不十分になりがちです。早めに家を出るなど、時間にゆとりをもって行動し、**無理な横断や飛び出し**は絶対しないようにしましょう。

- かさやレインコートは、黄色など**明るく目立つ色**のものを使いましょう。

《夕方や夜間》

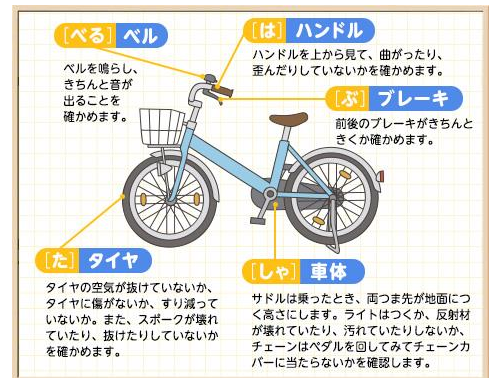
- 夕方や夜間は、昼間に比べて視界が悪く、周りの様子がわかりにくくなることから、交通事故の危険性も高くなります。車の運転手から見やすいように**白っぽい目立つ服装**を心がけ、**反射材**を身に付けるようにしましょう。自転車に乗る際には必ずライトを点灯しましょう。

《冬期》

- 寒い日の朝や雪が降った日は、道路が凍って滑りやすくなります。いつもより気をつけて歩き、**転ばないように**十分注意しましょう。

《自転車》

- 自転車は“車の仲間”です。交通ルールを守り、**ヘルメットを着用**して安全に乗りましょう。 ※ **定期的な点検・整備**を忘れずに…。



防犯の合言葉



不審な人に会った・目撃した!!

いか 行かない
の 乗らない
お 大声を出す
す すぐに逃げる
し 知らせる

○カバンをつかまれたら・・・ → 捨てて逃げる。

○声をかけられたり、車の中から道を聞かれたりしたら・・・

→ つかまれないように、
連れ込まれないように、
できるだけ離れる。



SNS 時代の子育て ネットの危険からお子様を守るために 今、保護者ができること

現在、子どもたちを取り巻く SNS の環境は、非常に複雑です。スマートフォンやゲーム機・タブレット等があればインターネットに簡単に接続でき、小学校に入学する前からそういった SNS を巧みに使うことができるお子さんもいます。学校では、警察・携帯会社等と連携して「スマホ・ケータイ教室」や SNS の使い方についての指導を行う予定です。

よくある事例としては、

- ふざけて撮った動画や音声を、勝手に YouTube にアップしてしまう。
- 自分の写真を知らない相手に送ってしまう。
- 誹謗中傷のことは相手に送る。
- SNS で他人になりすましての投稿 等



全国的に見ても、学年があがるにつれてトラブルが多くなり、複雑化している傾向があります。SNS などは、とても便利なものです。しかし、その便利さと同じだけの危険性もあります。子どもたちが SNS に依存してしまう危険性も増えています。子どもは、自身をコントロールする術をまだよく知らず、未熟な部分がありますので、SNS に夢中になりやすく、一旦熱中すると、ほかのことを忘れてしまう傾向も見られます。子どもが SNS に依存し、学力低下、生活リズムの乱れ、不登校、うつ病などに陥らないためにも、保護者がしっかりと見守ることが重要です。



子どもの利用は、保護者の責任の下で行われなければいけません。これまでも各家庭でルールづくり等をおこなっていただいていると思いますが、改めて大人も子どもも再度確認をし、ルールづくりと同時にどのように使っているかを把握しながら今後も見守ってもらえると幸いです。

「フォトハラ（フォトハラスメント）」 知らないうちにやっていませんか？

SNS や動画投稿サイトの普及によって、スマートフォンで写真や動画を撮影し、インターネット上に公開することに抵抗のない人が増えています。しかし、インターネット上に写真や動画を公開するリスクは依然として高く、個々のネットリテラシーの差がトラブルを生むことがあります。

「フォトハラ」とは？

「フォトハラ」とは「フォトハラスメント」の略で、許可を得ずに他人を撮影したり、写っている人に無許可で写真をネット上に公開したりすることなどによるトラブルのことをいいます。スマホの普及や GIGA スクール構想の 1 人 1 台端末環境によって、子どもたちがカメラに接する機会が増えていますので、きちんとした知識を持っていないと本人は無自覚なまま、フォトハラの加害者になってしまう可能性があります。

保護者が加害者になるケースも

子どもだけではなく、フォトハラは保護者が加害者になることもあります。学校行事や部活の大会の写真・動画を撮影し、それをインターネット上に投稿しているケースや、まだ SNS に写真を載せることのリスクを学んでいない年齢の子どもを SNS に投稿しているケースなどです。例えば許可を取っていてもインターネット上に子どもの顔がわかる写真を載せることは無断転載やネットストーカーの発生など様々なリスクになることを保護者も知っておく必要があります。



※たつの市教育委員会より、市内学校行事において来場者が撮影した写真や動画を無許可で SNS に投稿する事案が発生していることから、撮影した写真や動画を無許可で SNS に投稿することのないように、注意喚起を促す依頼を受けました。